



WASEDA ROPE

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

広島県 地域セミナー 報告書

2017（平成 29）年 7 月 3 日（月）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県地域セミナーが開催されました。当日は、広島県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 25 名（小学校 5 名、中学校 4 名、高等学校 15 名、特別支援学校 1 名）に加えてオリンピック・パラリンピック教育に興味をもたれている先生方 3 名とゲストとして広島大学の齊藤一彦教授にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2017（平成 29）年 7 月 3 日（月）13 時 30 分～16 時 15 分

会場：広島県情報プラザ 第 1 研修室

主催：広島県コンソーシアム、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：29 名

プログラム：

13:30～13:35 開会の言葉 広島県教育委員会 係長 光橋 健氏

13:35～14:00 広島県教育委員会 指導主事 吉岡 智厚氏

「広島県のオリンピック・パラリンピック教育」

14:00～14:25 早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 深見 英一郎氏

「オリンピック・パラリンピック教育について」

14:25～16:10 休憩

14:40～16:00 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究助手 岡田 悠佑氏

「学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の方法について」

16:00～16:05 事務連絡

16:05～16:10 挨拶 広島大学大学院教育学研究科 教授 齊藤 一彦氏

16:10 閉会

開会行事では、広島県教育委員会事務局教育部スポーツ振興課学校体育係係長の光橋健氏より主催者挨拶があり、続いて広島県教育委員会事務局教育部スポーツ振興課学校体育係指導主事の吉岡智厚氏より、広島県のオリンピック・パラリンピック教育事業の概要が説明されました。



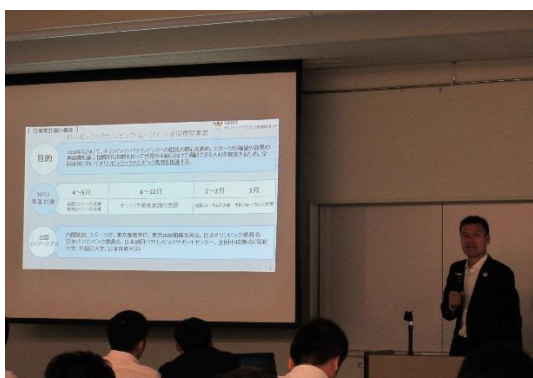
開会前の様子



吉岡 智厚 氏

続いて、深見英一郎副センター長が、「オリンピック・パラリンピック教育について」という題目で、お話ししました。まず、本事業の説明と広島県の事業計画について説明しました。具体的には、本事業の目的は、昨年度から引き続き、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピック・パラリンピックへの国民の関心を高め、スポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するために全国各地においてオリンピック・パラリンピック教育を推進することであることを説明しました。さらに、今年度の広島県は、児童生徒のスポーツに対する学びを深めることを具体的な事業の目的としていることを確認しました。さらに、コンソーシアムの組織作りやオリンピック・パラリンピックの価値を説明したうえで、現在改訂が進められている学習指導要領におけるオリンピック・パラリンピック教育の位置づけを整理し、これからますますオリンピック・パラリンピック教育の重要性が高まっていくことを説明しました。

さらに、15分の休憩の後、本センター研究員の岡田悠佑が、「学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の方法について」という題目でお話ししました。まず、オリンピック・パラリンピック教育には、「～についての学び」と「～を通じた学び」という2つの学びが存在することを説明しました。そして、それぞれの学びを学校で行うにはどのように行えばよいのかという点について、具体的な教材である「オリンピック・パラリンピックノート」(WASEDAROPE)、「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」(スポーツ庁)、「I'm POSSIBLE」(日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター)を提示しながら詳しく説明しました。



深見 英一郎 副センター長



岡田 悠佑

全ての発表終了後には、広島大学大学院教育学研究科教授の齊藤一彦氏よりご挨拶をいただき、閉会となりました。



齊藤 一彦 氏



集合写真